



福寿クラブ懇親会で  
チューリップの皆さん活躍



伊藤実先生とチューリップの皆さん

五月二十日に福寿クラブ懇親会が行なわれ、伊藤実先生による健康相談や映画会で楽しいひと時を過ごしました。  
この懇親会では、毎回ボランティアでチューリップの皆さんが健康にも良く、しかもおいしい食事を、と心のこもった昼食を作ってくれます。今年にはチューリップに新メンバーも加わり、積極的な活動をしていこうと皆さん張り切っています。

# 男長ひとくごと

斉藤 譲

## ファンの心情

近頃、ナイター中継のある夜は、心が落着かず、憂うつでさえある。訳は簡単で、いまの巨人があまりにも腑甲斐（ぶがひ）無いからである。私も、実は月並みな巨人ファンの一員であり、今年こそ日本シリーズで、西武ライオンズと対決して昨年（せつしよく）の雪辱（せつじやく）を果たし、堂々日本一の座を獲得する晴れ姿を、心秘かに期待している一人である。オープン戦から開幕前にかけての下馬評は、今年の巨人は投打共にキラ星の如くスタンプレーヤーが並ぶ陣容からみて、独走するのではないかという声が高かった。まして、今年は日本で最初の東京ドーム球場も完成するなど、巨人優勝の舞台は、これ以上ないほど揃っているのがある。それなのに、どうしたというのだ。三十試合を終え

た今の戦績は、勝率は五割を割り込み、BクラスとCクラスの間を行ったり来たりしている為体（ゐたらく）である。しかも試合の内容はといえば、大量点リードをいとも簡単にひっくり返されたり、一点を争うゲームはことごとく競負け、おまけに肝心なところで凡ミスを繰り返すなど、まったく見られたものではない。こんなだらしない姿をみる度に、全国の野球ファンを魅了したあの高校選抜野球の緊迫と熱戦のドラマが、しきりに蘇（よみがえ）ってくるのである。

「たしかに言うことはあった。しかしだ、ふざけるんじゃないよ。男らしくも、女らしくもあるもんか。お前なんかファンの切ない本音の心情などわかるものか。」とこちらも向（むか）なって反論するから、たちまちまた、険しい夜がは

じまるのである。「巨人よ、ファンの家庭円満のためにも、胸のすくような試合をしてくれ」と叫びたい心境である。ところで、町内の野球熱も軟式野球連盟の関係者の皆さんのご努力によって年々盛んになり、幕を開けた今年の大会にも四十三チームが参加している。集落、職場、仲間どおし等でチームを編成しているのであるが、底辺が広がり、若者達の素晴らしい交流、親善の機会ともなっている。この参加チームの中に「サファイヤ」という作間内で結成しているチームがある。今年で結成二十年を迎えるので、七月に祝賀会を開くという。この作間内には、一昨年お囃子（はしこ）も復活している。先輩から後輩へと地域の伝統を受け継ぐ気運の現れであり、心からお祝いを申しあげたい。



「男らしくないわね。もう絶対に見ないといっただでしょう。」

テレビを前に、赤くなったり、青くなったり、私の感情線は乱高下し、精神衛生上まことによろしくない。それだけでなく、日頃家人から内面（うちまへ）が

「たしかに言うことはあった。しかしだ、ふざけるんじゃないよ。男らしくも、女らしくもあるもんか。お前なんかファンの切ない本音の心情などわかるものか。」とこちらも向（むか）なって反論するから、たちまちまた、険しい夜がは

今年度着工する篠本運動公園（仮称）には、野球場の建設を予定しているが、ナイターのできる立派な施設をつくり、野球愛好者の皆さんの期待に応えたいと思っている。

今年度着工する篠本運動公園（仮称）には、野球場の建設を予定しているが、ナイターのできる立派な施設をつくり、野球愛好者の皆さんの期待に応えたいと思っている。